

柿沢法務副大臣が辞任

江東区長選 公選法違反に関与

自民党衆院議員の柿沢未途

法務副大臣(52)=衆院東京15区=は31日、東京都江東区の木村弥生区長側の公選法違反事件に関与したとして辞表を提出し、受理された。9月開催の第2次衆院改選内閣の政務三役では、女性問題で文部科学省を辞めた山田太郎氏に統き2人目。政権にとってひどい打撃で、野党は議員辞職を要求。岸田文雄首相は31日の参院予算委員会で「任命権者としての責任を重く受け止めていた」と述べた。(関連③面)

後任には9月まで法務副大臣を務めていた自民党の門山宏哲衆院議員を充てた。関係者によると、柿沢氏は、木村氏側が4月の区長選中、有料のインターネット広告を要求していった。木村氏側は、木村氏への投票を呼びかける有料のインターネット広告をユーチューブに掲載した。公選法違反事件で、広告掲載を事前に把握していたのは、自民党の柿沢未途衆院議員=31日に法務副大臣を辞任=や木村氏ら数人に限られることが31日、関係者への取材で分か



法務副大臣を引責辞任し、法務省を後にする柿沢未途氏=31日午後、東京都千代田区で

ト広告をユーチューブに掲載したとされる事件を巡り、ネット広告の利用を提案していたという。違法性は認識していないかったとしている。柿沢氏は江東区を地盤とし、区長選では木村

有料のネット広告掲載

事前に把握 数人のみ

つた。

東京都江東区の木村弥生区長側が4月の区長選の期

間中、木村氏への投票を呼びかける有料のインターネット広告をユーチューブに掲載した。関係者によると、柿沢氏が木村氏側にネット広告の利用を提案したのが発端で、木村氏の依頼を受けた陣営関係者が実際に掲載した。木村氏は東京地検特捜部の任意の事情聴取に対し、自らの関与を説明する一方、違法との認識はなかったと話している。柿沢氏も、小泉龍司

も問題で辞任するのは深刻な事態で、立憲民主党の安住淳国対委員長は「副大臣だけでなく、議員辞職に値する」と記者団に述べた。柿沢氏は野党の参院予算委員会で配当金の質問にも答えなかつた。自身のX(旧ツイッター)に「本当に申し訳ありません。おわびの申し上げようあります」と投稿した。首相は柿沢氏について「必要に応じて政治家として法相への説明で違法性の認識を否定している」。特捜部は、少人数で進められた手手続きの経緯を調べ、指揮系統などを確認するなどみられる。公選法は選挙運動で候補者名を挙げ、有料でのインターネット広告を出すことを禁じている。法定刑は2年以下の懲罰が50万円以下の罰金。4月の区長選は、自民党政系の候補が対立する保守分裂となり、双方の陣営に自民党的国会議員が支援に入った。江東区を地盤とする柿沢氏は木村氏を後押しした。木村氏によると、有料広告は本人の専業に「木村やよいに投票してください」とのテロップを付けた内容で、告示日から投票日前までの4月1日間掲載された。再生回数は約38万回。費用は約14万円で、木村氏のクレジットカードで支払われていた。

柿沢氏は野党の参院予算委員会で配当金の質問にも答えなかつた。自身のX(旧ツイッター)に「本当に申し訳ありません。おわびの申し上げようあります」と投稿した。首相は柿沢氏について「必要に応じて政治家として法相への説明で違法性の認識を否定している」。特捜部は、少人数で進められた手手続きの経緯を調べ、指揮系統などを確認するなどみられる。公選法は選挙運動で候補者名を挙げ、有料でのインターネット広告を出すことを禁じている。法定刑は2年以下の懲罰が50万円以下の罰金。4月の区長選は、自民党政系の候補が対立する保守分裂となり、双方の陣営に自民党的国会議員が支援に入った。江東区を地盤とする柿沢氏は木村氏を後押しした。木村氏によると、有料広告は本人の専業に「木村やよいに投票してください」とのテロップを付けた内容で、告示日から投票日前までの4月1日間掲載された。再生回数は約38万回。費用は約14万円で、木村氏のクレジットカードで支払われていた。

この説明責任を果たすべきだ」と声明。政務三役の相次ぐ辞任に関しては「責任を感じる。信頼回復に向けて頭に立つて努力したい」と語った。小泉龍司法相は参院予算委員会で、31日昼に柿沢氏と法務省で面会したと説明。「事実関係を大筋で認め、深い反省の意を表すために辞任した」と本人の悔悟の意を聞き取ったと明らかにした。

柿沢氏は東京都議会議員で、2009年に当時のみんなの党から出馬し、初当選。結いの党や民進党などに所属し、21年衆院選は無所属で当選。自民党に追加公認された。現在5期目。

公選法は選挙運動で候補者名を挙げ、有料でのインターネット広告を出すことを禁じている。法定刑は2年以下の懲罰が50万円以下の罰金。4月の区長選は、自民党政系の候補が対立する保守分裂となり、双方の陣営に自民党的国会議員が支援に入った。江東区を地盤とする柿沢氏は木村氏を後押しした。木村氏によると、有料広告は本人の専業に「木村やよいに投票してください」とのテロップを付けた内容で、告示日から投票日前までの4月1日間掲載された。再生回数は約38万回。費用は約14万円で、木村氏のクレジットカードで支払われていた。